

今年もよろしく願いをいたします！

農地中間管理事業が開始されて5年目を迎えようとしています。

国は、より使いやすい事業にするため事業開始5年を節目に制度の見直しに向けて検討を進めています。どちらかという、この事業は平坦で土地利用型農業を展開している地域が導入しやすく、京都のように中山間地の多い地域では使い勝手が悪く、その旨を国へ伝えてきておりましたが、引き続き伝えて参りますので、積極的にご意見をいただければ幸いです。

さて、お陰様で京都府のH29年度事業の契約実績は300ha（前年の279ha）を越える見込みです。手続き緩和等の京都府機構独自の制度改善に心掛けたことも要因ですが、何よりも関係の皆様のご理解とご尽力の賜と感謝申し上げます。

一方、過疎化高齢化はますます進展し、担い手不足に拍車がかかっています。相続未登記農地が府内には約1万ha（府内農地の28%）、耕作放棄地も約3千ha存在しており、全国トップクラスであった集落共同維持管理活動の取組も将来が懸念されています。

やはり京力農場プラン策定・見直し等、地域での話し合いを基本に担い手や農業法人等へ農地の集積を進め、耕作放棄地を減らし農地を有効活用する等、農地利用最適化の取組が必要と考えています。同時に、新規就農・就業者の確保・育成や農業ビジネス等の展開による儲かる農業を進める取組も必要です。

このため、京都府では全国で初めて農業会議（農業委員会ネットワーク機構）と農業総合支援センター（農地中間管理機構）が、今年7月1日を目途に合併しようと検討しています。府内には農業委員会法改正により、700名を越える農業委員さんや農地利用最適化推進委員さんが活動しますが、こうした方々と一緒になって、「人と農地のワンストップ相談窓口」を形成するとともに、「地区連絡会議」等で情報交換や様々な地域課題に係る話し合いを進め、多様な担い手が共存・協働する持続可能な農業農村づくりを推進したいと思っておりますので、今後ともよろしく願いを申し上げます。

（京都府農業総合支援センター理事長 小田一彦）



（京都府農地中間管理機構）
京都府農業総合支援センター
小田一彦理事長

★募集しています★

○農地を貸したい方へ

離農や、規模縮小を考えておられる方、農地が荒れる前に農地中間管理機構、市町村農政関係課にご連絡ください。

○農地を借りたい方へ

農業を始めたい方、規模拡大を考えておられる方、農地中間管理機構では農用地等の借受希望者の募集を通年行っています。詳細については機構までご連絡ください。

京都府農地中間管理機構（公益社団法人京都府農業総合支援センター） TEL：075-417-6868

住所：京都市上京区出水通油小路東入丁子風呂町 104-2 京都府庁西別館 3F

農地確保は担い手育成のベース

「担い手養成実践農場」は意欲ある就農希望者を地域が受け入れ、技術指導を始め地域の暮らしの手ほどきから、ベースである農地の確保にハウス等の生産施設や研修用機械への支援に至るまで、就農条件の多面的な整備を行う京都府独自の総合的な事業です。平成14年以来100名近い方が、この事業を活用して新たに農業に従事されています。



(担い手養成実践農場の開始式)

就農するに当たり農地の確保が一番難しいと言われてきましたが、先般行った実践農場修了生のアンケートの中で、「就農時に苦労したことは」の問いに対し、「資金の確保と農地の確保」が最も多い回答でした。また、自分の経営の弱味として「小規模で分散しているところが多い」「土壌、水利、獣害等農地の条件が悪い」との声があります。支援策として期待するのはコスト面を考え、まとまった農地、水利面で苦労しない農地の斡旋、それに農地中間管理機構に期待という声を頂きました。

農地中間管理事業の推進に関する基本的な方向の一つとして、農地集積を加速化するためには農地の受け手対策が必要なことから、「担い手養成実践農場」などによる担い手の育成・確保を一層推進することが挙げられ、農地中間管理事業規程には研修農場としての積極的活用が謳われています。



(南丹市の連絡調整会議)

具体例として、新年早々の1月から南丹市のT氏は地域特産のキュウリ、春菊の施設園芸と露地ナス栽培を目指し研修に取り組みます。農地中間管理機構からの10㍊の借入に始まり2年後には30㍊に拡大予定です。本人曰く「お客（消費者）に自信を持って届けられるような美味しいものを作っていきたい」と力強く抱負を語っておられます。機構としては、将来にわたり農地面でのフォローを行うことで、農地のやり取りといった面だけでなく、地域農業を牽引する担い手を育成するという視点から今後とも事業推進を図っていきたいと考えています。

(農地中間管理機構 現地駐在員 岡田昭信)

◆イベントガイド◆

開催日	催事名	会場	お問い合わせ
1月18日(木)	山城地域就農相談	京都府田辺総合庁舎	山城北農業改良普及センター 山城南農業改良普及センター
	◆ある程度の就農準備ができていますの方を相談対象として想定しております。 ◆就農準備がどの程度できているかにより、他の相談機関を紹介する場合がありますので御了承ください。		
2月13日(火)	農地農政相談	福知山市内複数会場	福知山市農業委員会事務局

※ 京都府農地中間管理機構では、平成28年4月から「FarmBankNews」を（公社）京都府農業総合支援センターのHPに掲載しています。

（公社）京都府農業総合支援センター（農地中間管理機構）のホームページからメールアドレスの登録ができるようになりました。どなたでもご登録いただけますので、農地中間管理事業に興味のある方、また、活用をお考えの方、お気軽にご登録ください。